

決算審査特別委員会

委員長 白鳥 誠

副委員長 植草 毅

平成29年度一般会計および特別会計決算議案など19件を審査するため、9月18日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、計7日間にわたり審査しました。

また、10月4日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。

◆分科会での主な質疑をご紹介します。

総務分科会 (所管) 総務局・総合政策局・財政局・会計室・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・議会

建設事業債等の削減について

問 建設事業債等を削減しているが、自然災害から市民を守るため、社会インフラへの投資との調整をどう考えているか。

答 防災の観点から必要な投資は当然しなければならないと考える一方、「脱・財政危機」宣言は解除したが、引き続き財政健全化に取り組まなければならない状況であり、将来負担がどういった水準になるかを見極めて市債を発行するなど、バランスの取れた投資をしていく必要があると考えている。

経験したことのない災害への対策は

問 西日本豪雨、台風21号直撃、異常な潮位、北海道全域停電など、経験したことのない災害に対する千葉市の対策は。

答 危険をいち早く察知し、適切な避難行動を促すことが最も重要であるので、関係機関と連携し、情報収集体制を強化するとともに、避難勧告等を確実に伝達できるように努める。



保健消防分科会 (所管) 保健福祉局・消防局・病院局

母子健康包括支援センターでの面談における工夫は

問 面談内容が、相談者にきちんと伝わるのが重要であるが、その工夫について伺う。

答 昨年度末、面談で使用する「応援プラン」の様式を、母子健康手帳と同サイズの冊子状に変更し、手帳を開く際には、常にプランも見ることができるようにした。今後も引き続き周知徹底に努める。



母子健康手帳と同サイズの「応援プラン」

最適な病院事業のあり方につながる取り組みを

問 客観的なデータを基に、現状と課題、市立病院が担うべき医療機能・病床規模・経営形態などを病院事業のあり方検討委員会で検討していくとのことだが、そのスケジュールは。

答 千葉保健医療圏の需要・供給等の分析を、現在行っているところであり、その分析結果をもとに、12月から開催される委員会において、約1年かけて検討していく予定である。

環境経済分科会 (所管) 市民局・区役所・環境局・経済農政局・農業委員会

市民自治推進への取り組みは

問 市民自治を推進するための基盤となる、地域運営委員会間の相互連携に対する支援について伺う。

答 意見交換の場として、地域運営委員会サミットを平成27・28年度に開催し、29年度は有識者を招いた研修会を開催する中で意見交換し、相互理解や共通認識を図った。

農業振興に向けた施策について

問 農業振興に関し、特に力を入れて展開している施策と成果について伺う。

答 意欲ある担い手が機械や設備を導入する際、産地パワーアップ事業等、国の補助金を十分に活用し、農家への支援を行うほか、安全安心確保のため、地産地消にも注力し、昨年度から始まった地産地消推進店登録制度において、目標を上回る登録件数となっていることから、一定の効果が上がっていると考えている。



千葉市つくたべ推進店登録証

教育未来分科会 (所管) こども未来局・教育委員会

ニーズに対応した病児・病後児保育の拡充を

問 利用者数が年々増加する中、運営する医療機関の確保が求められるが、その課題と対策について伺う。

答 閑散期と繁忙期で利用者数に差があり、運営が難しいことから、医療機関等の確保ができず、整備が進んでいない。医師会等と連携し、制度の見直し等を検討する必要があると考えている。



病児・病後児保育リーフレット

教員の負担軽減への取り組みは

問 教員の働き方改革について、今後どのように取り組んでいくか見解を伺う。

答 教員の勤務負担軽減策を検討する「チーム学校推進委員会」を立ち上げ、部活動・特別支援・学習指導・生徒指導・環境整備の5つの作業部会で具体策を検討し、施策を推進する。今年度は、在校時間の縮減目標設定とともに具体策を取りまとめた、学校における働き方改革プランを策定する予定である。

都市建設分科会 (所管) 都市局・建設局・水道局

市民要望に応える公園管理を

問 身近な公園のリフレッシュ事業の推進状況と必要な予算確保について伺う。

答 公園施設長寿命化計画に基づく器具交換等の整備は、平成22年度から29年度で、347か所の公園で実施している。国庫補助事業等の減少等により、計画の76%に対し60%の達成率となっているが、今後、市民要望等を精査し、必要な予算確保に努めたい。



大型単走すべり台

路面下の空洞化調査の取組状況は

問 道路の空洞化調査の状況と結果について伺う。

答 市が管理している緊急輸送道路の約8.2kmを2020年度までに調査する予定であり、2017年度末で6.9kmの調査を行った。その結果、緊急の修繕を要する空洞を6か所発見し、これらについては、修繕を終了している。